ルーゴン＝マッカール家系図

アデライード・フーク

通称ディッド叔母、1768年生
86年鈍重だか温厚な庭仕事をする若者ルーゴンと結婚。87年男児を得る。88年夫を失い、翌年精神異常で酒飲みの密輸入者マッカールを愛人として男児を、91年女児を得る。発狂し1851年レ・テュレットの精神病院に入った。1873年103歳で脳充血のため死亡。

『ルーゴン家の誕生』『パスカル博士』

ルーゴン

ピエール・ルーゴン

1787年生、1810年頭がよく活動的で健康なフェリシテ・ピュエックと結婚し、5児を得る。70年、スダンに敗北の翌日、脳充血で死亡。油商、後に特別収税吏

『ルーゴン家の誕生』

ウージェーヌ・ルーゴン

1811年生、57年ヴェロニック・ブーラン・ドルシェールと結婚。政治家、大臣となる。弁護士としてパリに生存。

『ルーゴン家の誕生』
『獲物の分け前』
『ウージェーヌ・ルーゴン閣下』

パスカル・ルーゴン

1813年生、医師。73年11月7日心臓病で死亡。死後、74年姪クロチルドと間に子供が誕生。

『ルーゴン家の誕生』
『ムーレ神父のあやまち」
『パスカル博士』

マルト・ルーゴン

1820年生、40年従兄のフランソワ・ムーレと結婚し、3児を得る。64年神経発作で死亡。

『プラッサンの征服』

アリスティッド・ルーゴン

通称サッカール、
1815年生。1836年に指揮官の娘アンジェール・シカルドと結婚し40年男児、47年女児を得た後54年妻を亡くす。53年女工のロザリー・シャヴァイとの間に不義の男児をもうけるが、彼女は子孫に肺結核と癇癪をもたらした。55年ルネ・ベロー・デュ・シャテルと再婚したが子供のないまま彼女も64年に死亡。役人。ついで大企業家となる。新聞社の社長としてパリに生存。

『ルーゴン家の誕生』
『獲物の分け前』『金』

シドニー・ルーゴン

1818年生、38年代訴人書記と結婚し50年にパリで死別。51年ある男と女児をもうけ、孤児院へ。仲介業などあらゆる仕事をてがけ後に厳粛になる。宗教慈善団体の会計係としてパリに生存。

『ルーゴン家の誕生』
『獲物の分け前』

ヴィクトール・ルーゴン

通称サッカール、
1853年生。
行方不明　『金』

マクシム・ルーゴン

通称サッカール、1840年生、萎縮病でアル中の女中ジャスティーヌ・メゴとの間に男児を得る。63年ルイーズ・ド・マルイユと結婚するも同年に亡くす。73年運動失調症で死亡。道楽息子、財産をくいつぶす。

『獲物の分け前』『金』
『パスカル博士』

シャルル・ルーゴン

通称サッカール、
1857年生、73年鼻血が止まらず死亡。

『パスカル博士』

アンジェリック・ルーゴン

1851年生、69年フェリシアン・ド・オート＝クールと結婚し、原因不明の病で即日死亡。

『夢想』

クロチルド・ルーゴン

通称サッカール
1847年生、74年叔父パスカルにより男児を得る。プラッサンに生存。

『パスカル博士』

未知の子

1874年に誕生する予定。

マッカール

ユルシュル・マッカール

1791年生、1810年健康で温厚な帽子職人ムーレと結婚。3児を得る。40年肺結核で死亡。

『ルーゴン家の誕生』

アントワーヌ・マッカール

1789年生、1809年兵役につく。
29年たくましく働き者だが大酒飲みの市場の商人ジョセフィーヌ・ガヴォーダンと結婚。3児を得る。51年妻を亡くし、73年アル中による自然燃焼で死亡。

『ルーゴン家の誕生』
『パスカル博士』

シルヴェール・ムーレ

1834年生、51年
憲兵に銃殺される。
『ルーゴン家の誕生』

フランソワ・ムーレ

1817年生、40年従妹のマルト・ルーゴンと結婚し、3児を得る。気が狂い、64年自宅に火を放ち焼死。ワイン卸売商。後に金利生活者。

『プラッサンの征服』

エレーヌ・ムーレ

1824年生、41年虚弱体質のグランジャンと結婚し、43年女児を得る。53年夫を気管支炎で亡くし、57年ランボーと再婚、マルセイユに生存。

『愛の一ページ』

ジャン・マッカール

1831年生、67年フランソワーズ・ムーシュと結婚し70年に亡くす。71年強健な農婦メラニーと再婚し男児を得る、その後、再び妊娠。農夫、兵士、再び農夫となりヴァルケラスに生存。

『大地』『壊滅』

ジェルヴェーズ・マッカール

1828年生、中風の血統をもつ愛人ランチエとの間に3児を得る。パリに駆け落ちし、捨てられる。52年職人クーポーと再婚し女児を得る。69年貧困と泥酔で死亡。洗濯女。

『ルーゴン家の誕生』
『居酒屋』

リザ・マッカール

1827年生、52年健康で温厚なクニュと結婚し、女児を得る。63年白血病で夫より半年前に死亡。豚肉商でパリ中央市場に大きな店を構える。

『パリの胃袋』

デジレ・ムーレ

1844年生、兄と一緒にサン＝トゥトロープに生存。

『ムーレ神父のあやまち』

ジャンヌ・グランジャン

1842年生、55年神経性発作により死亡。

『愛の一ページ』

オクターヴ・ムーレ

1840年生、65年エドワン夫人と結婚しその年に亡くす。69年健康で精神の均衡のとれたドゥニーズ・ボーデュと再婚し、男女2児を得る。ボヌール・デ・ダム百貨店を創立。社長。パリに生存。

『ごった煮』
『ボヌール・デ・ダム百貨店』

セルジュ・ムーレ

1841年生、神父。サン＝トゥトロープに生存
『ムーレ神父のあやまち』

ジャック・ランチェ

1844年生、70年事故で死亡。機関士

『獣人』

エチエンヌ・ランチェ

1846年生、炭坑夫。流刑者としてヌメアに生存。現地で結婚し、子供もあると噂されているが記載不可能。

『ジェルミナール』

ポリーヌ・クニュ

1852年生、未婚。ボンヌヴィルに生存。

『生きる歓び』

アンナ・クーポー

通称ナナ。1852年生、67年ある男との間に男児ルイを得るが、70年に亡くす。数日後、自身も天然痘で死亡。

『居酒屋』『ナナ』

クロード・ランチェ

1842年生、下肢の麻痺した父をもつクリスティーヌ・アルグランと6年間同棲した後65年に結婚する。この時、5歳になる男児ジャックがいたが、69年この息子を亡くし自身も70年死亡。画家。『パリの胃袋』『制作』

ルイ・クーポー

通称ルイゼ。1867年生、70年天然痘で死亡。

『ナナ』

ジャック＝ルイ・ランチェ

1860年生、69年に水頭症で死亡。

『制作』